



会長あいさつ

曾於市農業委員会 会長 森 岡 俊 弘

平成 25 年 1 月から、曾於市農業委員会会長を務めることになりました。

農業委員会だよりの発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。市民の皆様方には、かねてから農業委員会の業務に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年末、民主党から自民党に政権が替わり、農業関係の予算が見直されてくるのではないのでしょうか。そこで曾於市農業委員会では、曾於市長へ次の 8 項目にわたり提言いたしました。

1. TPP 問題について
2. 畜産農家等の支援について
3. 畑地かんがい事業の営農推進について
4. 有害鳥獣対策について
5. 食育の推進と地産地消について
6. 廃農業用資材の回収の徹底について
7. 後継者対策について
8. 代替エネルギーの推進について

特に TPP 問題には、色んな関連機関と足並みを揃えて、日本農業を守るため、引き続き参加撤廃を求めてまいります。また、認定農業者と語る会を実施し、農業経営の確立や経営の合理化を目指して、経営改善の課題等については国・県に政策提言をさせていただきました。

曾於市農業委員会では、市民のために基幹産業である農業を守り発展させるために、農地の確保・有効利用・担い手農家への農地集積・遊休農地対策や各種申請に対して公平迅速に対応するように取り組んでまいります。

原発事故以来、日本の新しいエネルギーを求めて太陽光エネルギー（メガソーラー）の設置が最近増えています。農地の有効利用であります。農地は農地として維持できるように、地域農業が進行し曾於市が発展するよう農業委員・職員一丸となり、積極的な活動を推進してまいりますので、今後共ご指導・ご協力をよろしくお願いします。

市長へ政策提言

平成 24 年 11 月 1 日、曾於市農業委員会は地域農業振興のため、農家の声を集約して、農業施策に関する政策提言書を市長に提出しました。

曾於市農業振興政策についての提言

曾於市発足以来 8 年目を迎え、市長を始め、関係機関一体となり、農業を支える担い手の育成や積極的な農業振興に取り組んでいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

農業委員会では「かけがえのない農地と担い手を守り、力強い農業をつくる『かけ橋』の理念」のもと、農地の有効利用や担い手の育成に取り組んでおります。平成 21 年に農地法が改正され、従来の農地の許認可の他、農地の利用状況調査が年一回義務づけられ、農業委員会の役割はますます大きくなってきております。

昨年の秋以降、貿易の自由化を目指す TPP（環太平洋連携協定）への参加をめぐる議論が高まる中、農業を取り巻く情勢は一段と厳しさを増しつつあります。今後とも農業委員会活動へのご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。